

国をこえた感謝と友好

川根高校でALTとして活動していたウィサニ・シバンプさん(30)は、平成28年に南アフリカ共和国から来日しました。高校での授業を行うかたわら、町内で様々な行事や活動に参加、赤石太鼓保存会にも所属していたことから、イベントなどで目にされたことのある方も多いと思います。

今回、3年の任期を終えられるにあたり、川根本町へ感謝の意を伝えたいとして、表敬訪問に来庁されましたので、そのメッセージをお伝えします。



3年間の任期の間は楽しくやらせてもらうことができました。初めての来日でしたが、たくさんの方の友達もでき、川根本町や日本が本当に大好きになりました。この町の子どもたちに英語を教える機会をもらったのはとてもうれしいことでした。生徒たちとふれあうことで、自身により良い人間になれたと感じています。

また、町の人たちがとても良くしてくれました。「親切心」ということをあらためてここで知ることができました。私の母国である南アフリカのズールー語に「Ubuntu(ウブントウ)」という言葉があります。「他者への思いやり」という大切な言葉ですが、自分の国に住んでいた頃は忘れかけていたこの言葉を、この町の生活で思い出すことができました。



川根高校での生活では色々な先生が助けてくれましたが、町の人も色々なことで助けてくれました。

赤石太鼓にも参加させてもらいましたが、地名で始まった太鼓クラブでの指導などもさせてもらったのは、文化を伝えるということの手伝いができていた気がしましたし、とても良い体験ができたと思います。

また、この町のことを他の町のALTの方に紹介していたのですが、興味を持ってくれた人がたくさん来町してくれました。訪れた人たちは「田舎だと思っていたらたくさんお店もあるし色々なことができるんだね」と言ってもらえたのはうれしかったです。

この町では色々なことが経験できました、あらためてお礼の言葉を伝えたいと思っています。



ウィサニさんから友好と感謝の意を込めて、南アフリカ共和国の国旗がおくられました

海洋センターのリニューアルに向けて 7/29

B&G 財団から修繕助成決定書が授与されました

今年で建設36年目となる本町海洋センターの改修工事に対する修繕助成の決定書授与式が行われました。

B & G財団の古山透常務理事は「最高の特A評価を維持する海洋センターの活動内容を評価し採択を行った。今後も活発な活動の継続を期待する」と語りました。

海洋センターの改修工事は本年9月から来年2月までの予定で実施されます。ロビー・廊下・ミーティングルームなどの改修、空調機の更新などによる快適性の向上が期待されます。



●今回の助成は活動内容の良好な施設のみ対象となります

8/4

湖で楽しむカヌー体験

接岨湖パドルミーティングが開催されました

長島ダムの奥大井接岨湖カヌー競技場を会場としてパドルスポーツの体験会が開催されました。今回で3回目となるこの催しには、家族連れを中心に町内外から81人が参加しました。

スタッフからパドルの使い方や乗り込み方、安全のための注意点を習った参加者は、思い思いの艇で湖へ漕ぎ出し歓声をあげていました。

当日はカヤックやカナディアンなどのカヌーのほか、ボードの上に立って乗るSUP(スタンドアップパドル)が用意され、4人乗りの大きなSUPを使用したミニレースも行われました。



●4人乗りのドラゴンSUPでレースに挑む参加者

みんな大好きカブトムシ

8/6

長島ダム管理所から町内の保育園にカブトムシが寄贈されました

国土交通省長島ダム管理所から、桜保育園と三ツ星保育園に対しカブトムシのオスとメスがそれぞれ5匹ずつ寄贈されました。

このカブトムシの寄贈は、接岨湖周辺にある流木の処理場で自然繁殖するようになったことから、園児たちに楽しんでもらおうと4年前から行われているものです。

長島ダムの職員からカブトムシを手渡された園児たちは「固い!!」「カッコイイ!!」などと歓声を上げながら、昆虫とふれあいました。



●ダムの職員からカブトムシを手渡される園児たち